

07

文法ドリル

し え き う み け い  
使役受け身形

どう

違う?

「食べさせる」と「食べさせられる」

- ① 母親は子どもにいろいろな野菜を食べさせる。  
 ② 子どもは嫌きらいな野菜も無理やり食べさせられる。

① ~させる

意味 使役形

→ 54 ページ「使役文の作り方と使い方①②」

作り方 → 53 ページ「使役形の作り方」

▶ 「AはBにVせる／させる」

(BはVしたくないが) Aが命令めいれいするので、Vする。主語はA。

(B doesn't want to do it but) A tells B to do something, so B does it. The subject is A. / (B 不愿意做某事) 由于A

的命令, B 不得不做某事。A 为主语。 / (B 是 V 하고 싶지 않지만) A 가 명령하니까 V 한다. 주어는 A.)

☑ 課長は夜遅くまで私を働おそかせる。いやだなあ。早く帰りたいよ。

☑ 私は子どもに毎日ピアノの練習れんしゅうをさせています。私が「練習しなさい」って言わなければ、子どもは外へ遊びに行ってしまうんです。

② ~させられる

意味 使役受け身形

→ 63 ページ「使役受け身文の作り方と使い方」

作り方 → 62 ページ「使役受け身形の作り方」

▶ 「BはAにVせられる／させられる」

(BはVしたくないが) Aが命令するので、いやいやVする。主語はB。使役の文のBを主語にした表現。

(B doesn't want to do it but) A tells B to do something, so B does it grudgingly. The subject is "B". Expression with B as the subject of a causative sentence. / (B 不愿意做某事) 在A的命令下, 不情愿地做某事。B 为主语。把使役句中的B 作为主语的表述方式。 / (B 是 V 하고 싶지 않지만) A 가 명령하니까 하는 수 없이 V 한다. 주어는 B. 사역문의 B 를 주어로 한 표현.)

☑ 私は課長に夜遅くまで働かされて、とても疲つかれてた。

☑ パーティーで私はみんなに歌を歌わされて、恥はずかしかったです。

## ■■■ 練習 1. 正しいほうを選びなさい。

- (1) 父は弟に部屋を片付けさせました。  
→ 部屋を片付けたのは ( a. 父 b. 弟 ) です。
- (2) 学生は先生にあいさつの練習をさせられました。  
→ あいさつの練習をしたのは ( a. 先生 b. 学生 ) です。
- (3) 私は友人に酒を飲ませました。  
→ 酒を飲んだのは ( a. 友人 b. 私 ) です。
- (4) 私は田中さんに仕事を手伝わせられました。  
→ 仕事を手伝ったのは ( a. 私 b. 田中さん ) です。
- (5) 警官は父を怒らせました。  
→ 怒ったのは ( a. 警官 b. 父 ) です。
- (6) 子どもは母親を笑わせました。  
→ 笑ったのは ( a. 子ども b. 母親 ) です。
- (7) 母親は子どもに笑わせられました。  
→ 笑わせたのは ( a. 子ども b. 母親 ) です。
- (8) 夫は妻に重い荷物を持たされました。  
→ 重い荷物を持ったのは ( a. 夫 b. 妻 ) です。
- (9) 夫は妻に高い花を買わせられました。  
→ 高い花を買わせたのは ( a. 夫 b. 妻 ) です。
- (10) 課長は私を夜遅くまで働かせました。  
→ 夜遅くまで働いたのは ( a. 課長 b. 私 ) です。

## 要点整理

「使役受け身」<sup>しえきう み</sup>：上の人の命令<sup>めいれい</sup>などで、いやいや何かをするときなどに使う。「AはBを／に～せる／させる」という使役の文の「B」が主語になった文。

(Used when ordered by a superior person and doing something reluctantly. B is the subject in the causative sentence 「AはBを／に～せる／させる」. / 表示受地位高的人的命令等, 很不情愿地去做某事. 使役句「AはBを／に～せる／させる」中的B, 成为此句型的主语. / 위사람의 명령 등으로 마지못해 무엇인가를 할 때 등의 표현에 사용. 「AはBを／に～せる／させる」와 같은 사역문의 「B」가 주어가 된 문장.)

### ●使役受け身形の作り方

動詞 <sup>どうし</sup>	辞書形 <sup>じしょけい</sup>	使役受け身形 <sup>しえきう み</sup>	
Iグループ	買う	買わない + せられる	= 買わせられる → 買わせる*
	書く	書かない + せられる	= 書かせられる → 書かされる*
	待つ	待たない + せられる	= 待たせられる → 待たされる*
	運ぶ	運ばない + せられる	= 運ばせられる → 運ばされる*
	読む	読まない + せられる	= 読ませられる → 読まされる*
	入る	入らない + せられる	= 入らせられる → 入らされる*
	消す	消さない + せられる	= 消させられる → 消さされる
IIグループ	見る	見ない + させられる	= 見させられる
	つける	つけない + させられる	= つけさせられる
IIIグループ (不規則)	する		→ させられる
	来る <sup>く</sup>	来ない + させられる	= 来させられる

▶ Iグループの「す」で終わる動詞以外の動詞には「\*」のように短い形がある。普通はこの短い形を使うことが多い。

(For the I group verbs other than 「す」 form there are short forms 「\*」. These short forms are generally used. / 組I中, 除了以「す」结尾的动词以外, 其他动词都有如同「\*」所示的简写形式. / I 그룹의 「す」로 끝나는 동사 외에는 「\*」와 같이 짧은 형태가 있다. 보통은 이 짧은 형태를 사용하는 경우가 많다.)

## ●使役受け身文の作り方と使い方

### ① AはBをVせる／させる → 「BはAにVせられる／させられる」

V = 自動詞 (intransitive verb / 自动词 / 자동사) の場合

先生は「走れ」と命令した。学生は走った。

- 使役形                    先生は学生を走らせた。  
 ⇒ 使役受け身形        学生は先生に走らせられた。  
                                   学生は先生に走らされた。

- 子どものとき、いたずらをして先生に立たされた。  
 A : 夜遅く、たくさんの子供が電車に乗ってるけど、どうして。  
           B : みんな塾に行かされてるんだよ。

### ② AはBにNをVせる／させる → 「BはAにNをVせられる／させられる」

V = 他動詞 (transitive verb / 他动词 / 타동사) の場合

課長は部下に仕事を命令した。部下は仕事をした。

- 使役形                    課長は部下に仕事をさせた。  
 ⇒ 使役受け身形        部下は課長に仕事をさせられた。

- 保険の手続きで、書類をたくさん書かされました。  
 高校2年のとき、親に無理やりサッカー部をやめさせられた。

▶ 何かを見たり聞いたりして、強く感じたり、思ったりしたときに使う。「考える」「反省する」  
 「悩む」「困る」「泣く」など。

(Used when strongly feel or think about something because of what one saw, heard, etc. Used with think, reflect on, feel bad, be troubled, cry, etc. / 表示对自己看到或听到的, 有强烈的感触或深刻的思考。“考虑”, “反省”, “烦恼”, “为难”, “哭”等动词多用于此句型。 / 무엇인가를 보거나 듣고 강하게 느끼고 생각했을 때에 사용. 「생각하다」「반성하다」「고민하다」「곤란하다」「울다」등.)

- 戦争の映画を見て、戦争についていろいろ考えさせられた。

\*私は戦争の映画を見た。戦争についていろいろ考えた。

▶ 直接命令がなくても、しなければならぬ状態になる場合にも使う。

(Used even without a direct command in the case where something must be done because of the situation. / 有时也用于表示虽然未受其他人的命令或嘱咐, 却不得不做某事。 / 직접 명령이 없더라도, 하지 않으면 안 될 상태가 된 경우에도 사용.)

- 母は料理が下手だし、父は料理ができないし、結局、私が作らされるのよね。

## まとめドリル

**問題 1** <sup>しえきょう</sup> <sup>み</sup> <sup>かたち</sup> 使役受け身の形に書きかえなさい。2つの形がある場合は2つとも書きなさい。

- (例) 書く → 書かされる／書かせられる
- (1) 持つ → \_\_\_\_\_
- (2) いる → \_\_\_\_\_
- (3) 働く → \_\_\_\_\_
- (4) 来る → \_\_\_\_\_
- (5) <sup>く</sup> <sup>か</sup> 繰り返す → \_\_\_\_\_
- (6) 止める → \_\_\_\_\_
- (7) <sup>しんぱい</sup> 心配する → \_\_\_\_\_
- (8) 帰る → \_\_\_\_\_
- (9) 答える → \_\_\_\_\_
- (10) 持っていく → \_\_\_\_\_
- (11) 急ぐ → \_\_\_\_\_
- (12) <sup>やくそく</sup> 約束する → \_\_\_\_\_
- (13) <sup>れんしゅう</sup> <sup>つづ</sup> 練習を続ける → \_\_\_\_\_
- (14) 買って来る → \_\_\_\_\_
- (15) テレビを<sup>け</sup>消す → \_\_\_\_\_
- (16) <sup>まど</sup> <sup>あ</sup> 窓を開ける → \_\_\_\_\_
- (17) 電話をかける → \_\_\_\_\_
- (18) 休む → \_\_\_\_\_
- (19) ごみを<sup>す</sup>捨てる → \_\_\_\_\_
- (20) 電気をつける → \_\_\_\_\_

- (21) 料金を払う → \_\_\_\_\_
- (22) いらいらする → \_\_\_\_\_
- (23) 本を読む → \_\_\_\_\_
- (24) 報告する → \_\_\_\_\_
- (25) まとめる → \_\_\_\_\_

**問題 2** ( ) の中の動詞どうしを使役形または使役受け身形にかえて、文を完成させなさい。

- (1) A : おとといは休みを取っていたのに、課長かちょうに (① 出勤する→ \_\_\_\_\_) んですよ。  
B : 休みを取った人に (② 仕事をする→ \_\_\_\_\_) なんて、課長はひどいなあ。
- (2) 母親 : もう靴くつが駄目だめになったの?  
息子むすこ : だって、毎日監督かんとくに何キロも (① 走る→ \_\_\_\_\_) てるんだよ。  
母親 : 運動靴けつこって結構たいへん高いのよ。お金がかかって大変。  
息子ぼく : でも、僕を大会たいへんに (② 出場する→ \_\_\_\_\_) たいって言ってたじゃない。
- (3) A : 先輩せんぱいとの付き合いは大変ですか。  
B : 僕、仕事はやが速くできなくて、先輩を (いらいらする→ \_\_\_\_\_) ているみたいです。
- (4) A : あしたのパーティー、行かないの?  
B : うん。お酒さけが弱いのに、みんなに「飲め」って (飲む→ \_\_\_\_\_) から……。
- (5) A : 婚約こんやくおめでとう。で、結婚式けっこんしきはいつ。  
B : 来月。  
A : いろいろ準備じゅんびで忙しいいそがだろ。  
B : うん。式場かのじょなんかは彼女かのじょが決めてくれたんだけど、着るものとか選ぶえらぶのに (付き合い→ \_\_\_\_\_) で大変だよ。
- (6) 母親 : 太郎たろうが塾じゅくに通いたいって言うてるんだけど、どうする。  
父親 : 塾じゅけんか。受験じゅけんもあるし、(① 通う→ \_\_\_\_\_) てもいいな。  
母親 : 週しゅうに何回なんどぐらいがいいかな。  
父親 : 昼間ひるまは学校がっこうに通うんだ。週しゅうに1日か2日 (② 行く→ \_\_\_\_\_) ば十分じゅうぶんだよ。
- (7) A : 小学校しょうがっこうの先生せんせいになったって? 毎日まいにちどんなことをしているの。  
B : うん。今日は子どもたちに漢字かんじを (① 読む→ \_\_\_\_\_) たり、外国がいこくの首都しゅとを (② 言う→ \_\_\_\_\_) たりしたんだ。

A：子どもたちはちゃんと勉強してる？

B：うん。それに、大人とはものの見方がまったく違うし、子どもたちには毎日 (③ 驚く → ) てばかりだよ。

(8) A：今日は彼女と約束があるんでしょ。仕事はあしたにして、もう帰ったら？ 彼女を (① 待つ → ) ちゃ、かわいそうじゃない。

B：いや、いつも反対に彼女に (② 待つ → ) んだよ。

A：今日は時間どおりに来るかもよ。

B：それなら、今日は彼女を (③ 待つ → ) てみようと思うんだけど。

A：そんなことして、彼女を (④ 怒る → ) たら、後で大変よ。

(9) A：最近、親切そうにしてお年寄りに高価な物を (① 買う → ) という事件が多いね。

B：うん。でも、どうしてお年寄りはすぐだまされてしまうんだろう。

A：親切にされると相手を信じてしまう人が多いらしいよ。で、最終的には契約書にはんこを (② 押す → ) ってわけ。

B：お年寄りを (③ 泣く → ) なんて、世の中には悪いやつがいるな。

(10) A：お子さんが悪いことをしたらどうしますか。

B：よく説明して、子ども自身に (反省する → ) ようにしています。

**問題 3** 会話を読んで、それぞれの a～d から正しいものを選びなさい。

(1) 課長：あしたの会議に使う資料を作って。

部下：もう、7時ですが……。

課長：残業して、とにかく今日中に準備しといてくれ。

部下：(あー、疲れているのに。)

① 課長は部下を遅くまで ( a. 働かれる b. 働かせる c. 働かされる d. 働く )。

② 部下は課長に資料を ( a. 作られる b. 作らせる c. 作ってもらう d. 作られる )。

(2) 息子：僕の帽子、知らない？ ないんだけど。

母：ああ、あの汚い帽子？ 捨てたわよ。

息子：えー、あれは彼女からのプレゼントだったんだよ。

母：あら、ごめん。知らないものだと思った。

息子：ひどいこと言うなあ。

① 息子は母親に帽子を ( a. 捨ててやった b. 捨てさせた c. 捨てられた d. 捨

てさせられた)。

②息子はひどいことを( a. 言った b. 言わされた c. 言われた d. 言わせてもらった)。

(3) 私 : すみませーん。私のでんぷらそば、まだですか。

店員 : もうすぐできますので……。

私 : もう 20 分も待ってるんだけど。

私は ( a. 待たれている b. 待たされている c. 待たせている d. 待ってもらっている)。

(4) 男 : 子どもは預<sup>あず</sup>かった。3 億円、用意<sup>おく</sup>しろ。警察<sup>けいさつ</sup>には知らせるな。

親 : 子どもは無<sup>ぶ</sup>事<sup>じ</sup>ですか。声を聞かせてください。

男 : 子どもは金<sup>う</sup>を受け取<sup>と</sup>ってから返す。金は母親が運<sup>は</sup>べ。

親 : わかりました。どこに……。

①男は母親に金を ( a. 運<sup>は</sup>ぶ b. 運<sup>は</sup>ばれる c. 運<sup>は</sup>させる d. 運<sup>は</sup>される)。

②親は金を ( a. 用意<sup>お</sup>してくれる b. 用意<sup>お</sup>される c. 用意<sup>お</sup>させる d. 用意<sup>お</sup>させられる)。



**比べてみよう** 「笑われる」と「笑わせる」と「笑わされる」——Ⅲ

- a 息子の宿題が解けず、妻に笑われてしまった。
- b コメディアンの仕事は人を笑わせることです。
- c 「にらめっこ」は、2人で向かい合って面白い顔をして、相手を先に笑わせた人が勝ち、笑わされた人が負けという、楽しいゲームです。

a 笑われる

**意味** 受け身。→ 39 ページ「受け身形」

b 笑わせる

**意味** 使役。→ 49 ページ「使役形」

c 笑わされる

**意味** 使役受け身。→ 60 ページ「使役受け身形」

● 下線部は、上のa~cのどれと同じか選りなさい。

- (1) 子どもはお父さんの大切な時計を壊して、お父さんにしかれた。( )
- (2) 勉強していたのに、父に店の仕事を手伝わされた。( )
- (3) 父は母に重い荷物を持たされるので、一緒に買い物に行きたくないらしいです。( )
- (4) 私は警官を見て逃げたので、泥棒だと疑われてしまったんです。( )
- (5) 山田さんはいつも冗談を言って、みんなを笑わせています。( )
- (6) 田中先生は加藤先生に頼まれた書類の作成を忘れてしまったんです。( )
- (7) パーティーで伊藤さんは小川さんに強い酒を飲まされて、酔っ払ってしまった。( )
- (8) 子どもが自転車の練習をするとき、転びそうになるのではらはらさせられる。( )
- (9) 賞を取るために、毎日、子どもたちに厳しい訓練を受けさせているんです。( )
- (10) 交番で警官にいろいろなことを① 聞かれたり、住所と名前を② 書かされたりしました。  
(① ) (② )